

11 地域

場面：情報番組の一部

状況：地域の特産品のニュース。途中にレポーターと生産者の話が入る。

登場人物：

A: (男性、キャスター)

B: (女性、レポーター (林))

C: (男性、きゅうり農家 (佐々木))

A: 続いているニュースです。葉山県青空市の特産品「青空きゅうり」がおいしい季節になっています。今日は青空市の農家さんのもとに、林レポーターがお邪魔しています。林さん。

(転換音)

B: おはようございます。林です。私は今、青空市のきゅうり畑に来ています。今日は、「青空きゅうり」を育てていらっしゃる、佐々木さんにお話を伺います。佐々木さん、よろしく願いいたします。

C: お願いします。

B: ではまず、青空きゅうりの特徴を教えてください。

C: はい、特徴はまず、その大きさです。普通のきゅうりの1.5倍くらいの長さです。

B: あ〜。

C: また、皮が薄くて、とても水分が多いんです。

B: あ〜、こちらに実物がありますが、本当に大きくて、みずみずしいです。この「青空きゅうり」、青空市でしか採れないと聞いたんですが。

C: はい。この地域の気候、きれいな水、そして100年前から続く、伝統の栽培方法があって、初めて作ることができるんです。

B: は〜そうなんですね。その伝統的な方法というのは…?

C: はい。まず、苗を植える時期が普通のキュウリより早くて。

B: はい。

C: 3月の中旬から始まります。

B: ほう。

C: また、大きく育てるために、一つの苗からは2本までしか収穫しません。

B: はい。

C: 余分な実や葉っぱは全て、手作業で取っています。

B: 手作業、それは大変ですね。

C: そうですね。あと、収穫も必ず、朝の涼しい時間に収穫します。気温が低いとダメなんです。

収穫した後も、出荷するまで、徹底した温度管理をします。

B: なるほど、すごく手間がかかる野菜なんですね。

C: はい、でも、その分本当においしいので、ぜひ食べていただきたいです!

B: はい! 佐々木さん、お忙しいところ、ありがとうございました。青空きゅうりは、7月から9月までが旬とのことなので、皆さんもぜひ一度食べてみてください! 以上、青空市からお伝えしました。

A: 林さん、佐々木さん、ありがとうございました! いや〜おいしそうでしたね。青空キュウリ、ぜひ、食べてみたいですね。